

場面④隅田川

訳21 なおもどんどん進んで行つて、

武藏の国と下総の国との間にた
いそう大きな川がある。

それを隅田川という。

訳22

その川のほとりに集まり座つて
(遠く離れた都に) 思いを馳せ
ると、限りなく遠くへ来てし
まつたものだなあ、と(皆で)
つらい気持ちを嘆き合つている
と、

訳23 訳24 渡し守が、「早く舟に乗れ。日
も暮れてしまう。」と言うので、
(舟に)乗つて(川を)渡ろう

とするが、人々は皆なんとなく
つらい。京に思う人がいないわ
けではないのだ。

問一 いつ頃の話か?

ア 夕方 イ 昼過ぎ ウ 日没後

場面④隅田川

訳21 なおもどんどん進んで行つて、
武藏の国と下総の国との間にた

いそう大きな川がある。

それを隅田川という。

訳22 訳23 その川のほとりに集まり座つて
(遠く離れた都に) 思いを馳せ

ると、限りなく遠くへ来てし
まつたものだなあ、と(皆で)
つらい気持ちを嘆き合つている
と、

訳24 渡し守が、「早く舟に乗れ。日
も暮れてしまう。」と言うので、

訳25 (舟に)乗つて(川を)渡ろう
とするが、人々は皆なんとなく
つらい。京に思う人がいないわ
けではないのだ。

問二

傍線部の理由として可能性が
もつとも高いものを選べ。

ア 初めての川に恐怖を感じたから。
イ 川を生死の境目と感じたから。
ウ 大きな川で都とのつながりが断た
れてしまいそうだつたから。

